

新聞を身近なものとして実感するために ～新聞を読んだり投稿したりする学習活動を通して～

新富町立新田小学校
教諭 谷山千織

1 はじめに

本校は本年度（2020年度）よりNIE実践指定校として指定を受けた。1年目となる本年度は、児童にとって新聞を身近なものにし、親しむということを念頭に置き、実践を行った。

2 学校としての取組

（1）各社新聞の購読計画

NIEの実践校として配付される新聞を5年生の教室に置いた。購読計画は以下の通りである。

新聞名	配達月（2020年度）					
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
宮日	1	1				
読売		1	1			
日経			1	1		
毎日				1	1	
朝日					1	1

購読計画を立てるに当たっては、児童の家庭で多く購読されており、家庭でも親しむ機会がある「宮崎日日新聞」から購読を開始した。

（2）宮崎日日新聞 「宮日こども新聞」の活用

毎週土曜日発行される宮崎日日新聞の「宮日こども新聞」を各学級に2部ずつ配布している。各学級で、学年の発達段階に応じて児童が日常的に新聞に親しむことができるような環境作りが行われている。

3 実践事例

（1）朝の新聞記事スピーチの実施

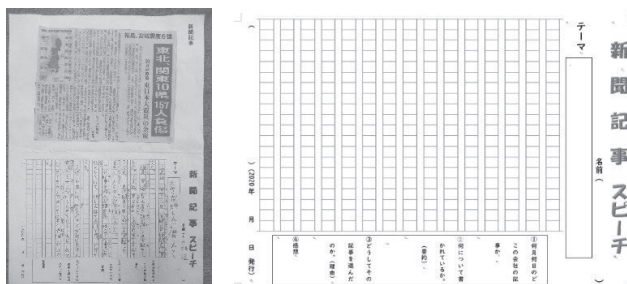
学期に2回程度、朝の会で「新聞記事スピーチ」を行う時間を設定した。実施方法は以下の通りである。

- ① 国語の時間や朝の時間を使い、学級においてある新聞を児童1人1部ずつ配付し、その中から興味をもった記事を切り抜く。
- ② ワークシートに記事を貼り（上部）、記事の内容等をまとめる（下部）。
- ③ 朝の会で二人ずつスピーチを行う。

ワークシートには以下の視点で書いていくように指導した。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ・ 何月何日のどこの新聞社の記事か。 | ・ 何について書かれているか。（要約） |
| ・ どうしてその記事を選んだのか。（理由） | ・ その記事に対する自分の感想や考え。 |

新聞を購読していない家庭もあるため、記事は学校で選ばせた。記事は切り取らせ、内容をまとめる作業は、週末課題等で行わせた。また、特別支援学級に在籍する児童もいるため、特別支援学級の担任にも、取り組んでもらうように依頼し、学級全員で取り組めるようにした。



【児童の書いたワークシート（左）とワークシート】

(2) 国語科における新聞を活用した授業

9月に5年生の国語科の単元「新聞を読もう（光村図書）」で新聞を活用した授業を行った。単元指導計画は以下の通りである。

主な学習活動及び学習内容	時間	観点・評価計画【方法】
<p>1 新聞の構成や特徴を理解し、必要な情報を見つけるための方法について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の新聞の1面を見比べて、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・新聞の構成や記事の書かれ方を確認する。 ・実際の新聞を使い、構成やそれぞれの面にどんな記事が書かれているか確認する。 	1	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞の1面に着目して読むことで、新聞の構成や特徴について理解している。 【発言・ノート】 ○ 構成や特徴を踏まえ、必要な情報を見つけるための方法について考えている。 【行動・発言・ノート】
<p>2 二つの記事を比較し、それぞれの要旨を捉え、論の進め方などについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの記事を比べて読み、違いを見つける。 ・記事を詳しく読んで、伝え方が違う理由について考える。 ・考えたことをグループで交流する。 	1	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二つの記事の論の進め方について考え、それぞれのたまかな要旨を捉えている。 【ワークシート・発言】 ○ 二つの記事を比較して違いに気づき、その理由について自分の考えをもっている。 【ワークシート・発言】
<p>3 新聞の特徴をいかして記事を選び、必要な情報を見つけて読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しに着目して新聞を読み、興味を持った記事を選ぶ。 ・選んだ記事を読んで、要約したり、その記事を選んだ理由、自分が考えたりしたことなどを書く。 ・友達と読み合い、意見を交流する。 	1	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに学習した新聞の特徴をいかして、自分の関心のある記事を選ぼうとしている。 【行動・ワークシート】 ○ 新聞や自分の選んだ記事から、自分にとって必要な情報を見つけて読もうとしている。 【ワークシート・発言】

第1時では、教科書を使って新聞の構成や特徴について学習した上で、実際に新聞を使って、一面にはどのような記事が載っているのか、またその他の面にはどのような出来事が掲載されているかなど新聞に触れさせた。新聞の書き方の特徴である「逆三角形の構成」についても、実際に新聞を使って確認した。


この時間に学習した新聞の構成や逆三角形の構成等については、教室後方の新聞を置くスペースに掲示し、児童がそのことを常に意識しながら、休み時間や昼休み、朝の時間を使って、自由に新聞を手にとって親しむことができるように環境を整備した。

第2時では、教科書を使って、同じ日に発行された地方紙と全国紙の記事の内容を比べさせ、どのように違うのか、なぜ違うのかについて考えさせた。以下の授業構想メモは、9月に第5学年で新聞を活用した授業を行ったときの学習計画である。

第3時は、これまでの学習を通して学んだことを生かし、複数の新聞を読み、その中から興味をもった記事を切り抜き、友達にどんなことが書かれている記事なのか、またどうしてその記事を選んだのか伝え合う時間を設定した。



【教室入り口の新聞を置くスペース】

<p>■ 本時の目標・ねらい</p> <p>■ 評価規準 (具体的な子どもの姿で)</p>	<p>○二つの記事を比較し、それぞれの要旨を捉え、論の進め方などについて考えることができる。(思考・判断・表現)</p> <p>二つの記事の論の進め方について考え、要旨を捉えるとともに、違いに気づき、その理由について自分の考えをもつことができる。</p> 
---	---

① 整合性 ② 内容の精選 ③ 平均をやや下回る ④ 指示・発問 ⑤ 読解力

<p>■ 本時のめあて (子どもの言葉で)</p>	<p>なぜ同じ出来事の記事でも伝える内容がことなるのだろうか。</p>
-------------------------------	-------------------------------------

時間 5分	1 問題意識(めあて)をもつ段階	<p>○ 前時を振り返り、新聞の作りや必要な情報を見つけるための方法について確認する。</p> <p>○ 教科書から同じ出来事でも書かれている内容が異なることを知り、本時は2つの新聞記事を読み比べ、「どんな違いがあるのか」、「どうして違うのか」について考えていくことを伝え、めあてを設定する。(①)</p> <p>なぜ同じ出来事の記事でも内容がことなるのだろうか。</p>
----------	------------------	--

時間 3分	2 見通しをもつ段階	<p>○ 本時の流れを確認する。(③)</p> <p>(各記事の見出しからどんなことが書かれているかを捉える→記事を読みどんなことが書いてあるか内容をまとめる→内容が異なる理由を考える)</p>
----------	------------	---

時間 30分	3 思考する段階	<p>○ 各記事の見出しからそれぞれの記事にどんなことが書かれているか捉えさせる。</p> <p>○ <u>ワークシートを活用し、それぞれの記事に書かれていることをまとめさせる。(⑤)</u></p> <p>○ ペアで内容を確認した後、全体でどのようなことが書かれていたか確認することで、2つの記事にはどんな違いがあるのか明確にする。(③、⑤)</p> <p>○ <u>2つの記事の読む相手と目的(伝えたいこと)を考えさせることで、同じ出来事でも伝える内容が異なる理由についての自分の考えを深めさせる。</u></p> <p>○ 2つの記事の読む相手と目的を全体で確認することで、同じ内容でも誰にむけて書かれているか、またどんなことを伝えたいかによって記事は異なることを伝え、まとめにつなげる。</p>
-----------	----------	---

時間 7分	4 まとめる・ふりかえる段階	<p>○ キーワードをもとに、本時のまとめを行う。<u>相手・目的</u></p> <p>同じ出来事でも新聞を読む相手や目的がちがうから、伝える内容がことなる。</p> <p>○ まとめたことを交流させ、様々な意見を取り入れることができるようにする。(①、③)</p> <p>○ 自分の知りたいことによって、読む新聞や記事を選ぶことの大切さについて確認する。</p> <p>○ 次時の学習内容を伝え、見通しをもたせるとともに、家庭でも新聞を読むきっかけづくりを行う。</p>
----------	----------------	---

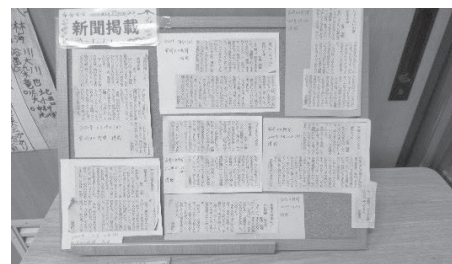
<p>■ 本時のまとめ(子どもの言葉で) (分かったこと、できるポイント)</p>	<p>同じ出来事でも新聞を読む相手や目的がちがうから、伝える内容がことなる。</p>
---	--

【板書計画】

<p>まとめ</p> <p>同じ出来事でも新聞を読む相手や目的がちがうから、伝える内容がことなる。</p>	<p>・ 小学校ではサッカー少年。</p> <p>・ 中学校、高校、大学での練習や記録。</p> <p style="text-align: center;">(目的)</p> <p>地元選手が世界で活躍していることを伝えるため。</p>	<p>地方紙を拡大したもの</p> <p>・ 桐生選手が育った地元の人</p> <p style="text-align: center;">(相手)</p>	<p>九月九日 水曜日</p> <p>新聞を読もう</p> <p>めあて</p> <p>なぜ同じ出来事の記事でも伝える内容がことなるのだろうか。</p>
	<p>・ 今までの日本陸上選手の記録。</p> <p>・ どのようにして速くなったか。</p> <p style="text-align: center;">(目的)</p> <p>日本の陸上界がどのように歩んできたか伝えるため。</p>	<p>全国紙を拡大したもの</p> <p style="text-align: center;">(相手)</p> <p>日本全国の人</p>	

(3) 新聞投稿

月に1度程度、宮崎日日新聞の「若い目」への新聞投稿に取り組ませた。書く内容は、学校行事や体験活動等についてなど題材を限定したり、将来の夢や目標、日頃感じていることや新聞記事を読んで考えたことなど題材を自由に考えさせたりした。また、教室内に宮崎日日新聞の「若い目」に掲載された児童の作文を紹介する場所も設置し、児童が新聞掲載された児童の作文を読むことができる環境づくりを行った。



【新聞掲載された児童の作文】

4 実践後の変容及び感想

(1) 朝の新聞記事スピーチの実施

新聞記事スピーチは、NIE用の新聞が配付される9月から実施した。はじめて行った9月は、日常的に新聞に親しんでいる児童も少なく、どのような記事を選べばよいのか悩む児童や自分の習っているスポーツの記事を選ぶ児童、また短い内容の記事を選ぶ児童の姿が多く見られた。しかし、回数を重ねるごとに、様々なジャンルの記事を選ぶ児童の姿が見られるようになり、また、長い分量の記事を選び、丁寧に内容を読み取ろうとする児童の姿も多く見られるようになった。

新聞記事スピーチで他の児童に伝えたい記事を日頃から探す児童も増え、朝の時間や休み時間などに、新聞を手に取り、記事を読みながら伝えたい記事を探す児童の姿も見られた。

(2) 国語科における新聞を活用した授業

新聞を購読していない家庭もあり、新聞になじみのない児童もいた。国語科のこの単元で新聞の構成や書き方の構成を学習することで、児童も少しずつ新聞に興味をもち、空いた時間に自分の興味のあるジャンルの記事を読む姿が見られるようになった。

また、全国紙と地方紙の違いを学習したことで、学級に届く新聞でも児童同士で記事の内容を比較しながら読む姿も見られた。

学校だけではなく、家庭でも新聞に親しみ、「新聞に〇〇って書いてあったよね。」などという児童同士の会話が聞かれるようになった。

(3) 新聞投稿

宮崎日日新聞の「若い目」への投稿は4月から行った。はじめは、作文を書くことに苦手意識をもつ児童やめんどくささを感じている児童の姿が見られた。しかし、学級の児童の作文が「若い目」に掲載されると、「自分の作文も掲載されたい」と思う児童が増え、意欲的に新聞投稿に取り組む児童が増えてきた。また、自分の作文が掲載されていないか、学級の児童の作文が掲載されていないか気になり、宮崎日日新聞の「若い目」を毎朝読んでくる児童の姿も見られた。「若い目」に掲載されている他の学校の小学生の作文を見る機会も増え、掲載されている作文のよいところをまねして、よりよい文章を書く児童が増えてきた。

5 今後の課題

- 今年度は国語科でしか新聞を活用した授業を行うことができなかった。日頃から教師が授業に使えるような記事を収集しておくとともに、計画的に他教科でも新聞を活用するようにしていきたい。
- NIE用の新聞が配達されるようになった9月に比べ、児童が自ら意欲的に新聞に親しむ姿が多く見られるようになった一方、あまり新聞に興味をもたない児童の姿も見られた。多くの児童が意欲的に新聞に親しむような手立てを行う必要があると感じた。